

技術者交流フォーラム事業

Web配信(収録版)



視聴期間 2024/11/25 (月) 9時 ~ 12/4 (水) 17時

視聴申し込み期間 : 2024/11/14(木)9時 ~ 2024/11/28(木)17時

視聴無料
事前申込

お申し込みはこちら ▶

寒地土木研究所「イベント情報」



・本フォーラムは、(公社)土木学会継続教育(CPD)プログラムに認定されています。
※全体の認定単位の内、現地開催のフォーラム事業にご参加いただきCPD受講証明書を受領された分は、本Web配信と重複してCPD受講証明書を申請することはできません。裏面の注意事項もご確認ください。

認定番号: JSCE24-1337
認定単位: 5.0単位



本プログラムでは、7月30日函館市民会館で開催の第44回技術者交流フォーラム事業in函館、および9月19日とかち館で開催の第45回技術者交流フォーラム事業in帯広で収録したものをWeb配信します。

【函館：基調講演】

『交流型地域におけるまちづくりとは
～ 観光とインフラの持続可能な関係のために ～』

北海商科大学 商学部
観光産業学科



教授 池ノ上 真一 氏

《 基調講演の概要 》 国内外の観光客に注目される函館は、古くから交流・交易の拠点として形成された地域です。しかしこの100年は、運輸技術の発展に伴い時空が変容し、立地による優位性が失われ、地域としても衰退の一途を辿っているように見えます。人口減少数が道内最大、消滅可能性自治体の代表格となった函館は、果たしてこのまま消滅するのか。移動、インフラ、地域資源、ITなど、観光という現象を支える要素に視点を当てて、今後の函館のような交流型地域のまちづくりのあり方を考えます。

【帯広：特別講演】

『SIP第3期「スマート防災ネットワークの構築」
サブ課題B「リスク情報による防災行動の促進」
—防災をきっかけとした流域のミライ設計に向けて—』

北海道大学大学院工学研究院 土木工学部門
社会基盤マネジメント



教授 山田 朋人 氏

《 特別講演の概要 》 近年の水害では、逃げ遅れ等により、多くの犠牲者が発生しています。戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第3期「スマート防災ネットワークの構築」サブ課題Bでは、全国に先駆け、平成28年豪雨災害で被害を受けた十勝川流域を対象に、平常時・非常時両輪での人々の防災行動の変容に取り組んでいます。本講演では、住民・企業等が人生設計・経営戦略の時間軸と照らし合わせながら、どのような対策を検討できるのかを考えます。

主催:

(函館) 国土交通省北海道開発局函館開発建設部、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所、公益社団法人日本技術士会北海道本部道南技術士委員会
(帯広) 国土交通省北海道開発局帯広開発建設部、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所、公益社団法人日本技術士会北海道本部道東技術士委員会

お問い合わせ先 国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所 (平日 9:00~16:00 直通011-590-4046)

E-mail forumweb-1@ceri.go.jp

【基調講演】

函館講演

【一般講演】

収録動画



〔1〕『交流型地域におけるまちづくりとは ～ 観光とインフラの持続可能な関係のために ～』

約60分 北海商科大学 商学部
観光産業学科

教授 池ノ上真一氏



〔2〕『 函館港の整備と地域振興に向けて 』

函館開発建設部 函館港湾事務所 所長 三岡 照之

約30分

函館港若松地区クルーズ船ターミナルの整備の概要を事例に、観光を始めとした函館地域の産業振興に函館港が如何に寄与してきたかを紹介します。



〔3〕『 埋もれた地域資源を発掘し価値創造する取り組み事例 』

公益社団法人日本技術士会 北海道本部 道南技術士委員会代表
兼 函館湾岸価値創造プロジェクト会長 布村 重樹

約30分

GRHABIPは函館周辺の埋もれた地域資源を発掘し、価値創造し実証する産学官連携の試みです。コンクリート遺産の価値創造から更に埋もれた地域資源発掘事例を紹介します。



〔4〕『 魅力ある海辺の空間整備に向けたみなとまちづくり 』

寒地土木研究所 地域景観チーム 研究員 榎本 碧

約30分

これからの函館の魅力あるみなとまちづくりを考えるにあたり、国内のみなとまちづくりにおける公共空間整備の事例や、景観整備手法に関する寒地土木研究所の研究成果を紹介します。

【特別講演】

帯広講演

【一般講演】

収録動画



〔5〕『SIP第3期「スマート防災ネットワークの構築」 サブ課題B「リスク情報による防災行動の促進」 —防災をきっかけとした流域のミライ設計に向けて—』

約60分 北海道大学大学院工学研究院 土木工学部門
社会基盤マネジメント

教授 山田 朋人氏



〔6〕『十勝川流域における流域治水の取り組み』

帯広開発建設部 治水課長 尾崎 光政

約30分

頻発・激甚化する水害に対して、あらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」について、帯広開発建設部の取組を紹介します。



〔7〕『地域と進める流域治水の歩み』

公益社団法人日本技術士会 北海道本部 道東技術士委員会 松川 優一

約30分

身近に流れる川を題材とし、産学官連携協働で実施している河川防災教育などの活動から、流域治水「じぶん事」化への歩みを考えます。



〔8〕『越水破堤による被害の軽減に向けて ～世界最大規模の十勝川千代田実験水路を活用した実験～』

寒地土木研究所 寒地河川チーム 主任研究員 島田 友典

約30分

全国各地で破堤による被害が多発している中、気候変動の影響により洪水被害の頻発化・激甚化が懸念されています。このような被害の軽減を目的に実施している越水破堤実験などを紹介します。

(公社)土木学会継続教育(CPD) 認定に係る注意事項

1. 本フォーラムにおけるCPD受講 認定単位の視聴パターンは、下記ようになります。

A:「函館講演・帯広講演〔1〕～〔8〕」のすべてを視聴された方 → 5.0 (※)

B:「函館講演〔1〕～〔4〕」のすべてを視聴された方 → 2.5 (※)

C:「帯広講演〔5〕～〔8〕」のすべてを視聴された方 → 2.5 (※)

※任意の収録動画のみ視聴の場合や、上記A,B,Cのいずれにも該当しない視聴をされた場合は、CPD受講 認定単位として認められないのでご注意ください。

2. CPD受講証明書は、①本フォーラムに参加の事前申込に登録し、1. のA,B,Cいずれかのパターンで視聴し、かつ②本フォーラム聴講後、参加申し込み登録完了後こちらから送付するメールに記載する期間に、CPD受講証明発行用アンケート(100文字以上の所見・感想等)に回答された方に発行します。

(注意) 現地開催のフォーラム事業にご参加いただきCPD受講証明書を受領された分は、本Web配信と重複してCPD受講証明書を発行できませんので、事前申込及び認定団体への申請の際はご注意願います。